

「Cutting Edge」では、大学・研究機関の研究者が進める研究内容や、研究が目指す未来像など、もっとも掘り下げたお話を直接聞いてみたい、とのご要望に応えます。

# The Cutting Edge!

## 2018

vol.4 深化するアルツハイマー病研究

▶ **2.13** 15:00-18:00  
[Wed]

けいはんなオープンイノベーションセンター

▶ **KICK** 2F ミュージウムホール

- けいはんなリサーチコンプレックス事業
- 同志社・けいはんな産学交流会事業

### program

- 15:00 - 15:05 開会挨拶
- 15:05 - 16:05 「知っておきたいアルツハイマー病の基礎知識と研究の最前線」  
同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科  
准教授 宮坂 知宏 氏
- 16:05 - 16:55 けいはんな研究シーズ発表会（ポスター発表）
- 16:55 - 17:55 「脳の免疫とアルツハイマー病」  
京都薬科大学 統合薬科学系 教授 高田 和幸 氏
- 17:55 - 18:00 閉会挨拶

**受講無料**

事前申し込みが必要です。裏面の申し込み方法を参照の上、お申し込み下さい。

# Session 1 15:05 - 16:05 (60分)



## 知っておきたいアルツハイマー病の基礎知識と研究の最前線

東京都出身。2001年北海道大学大学院博士課程終了。理化学研究所脳科学研究センター・研究員を経て2003年から東京大学医学系研究科助教、2007年から同志社大学生命医科学部助教、2015年から現職。

同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科 准教授 宮坂 知宏 氏

# Poster session 16:05 - 16:55 (50分)

## けいはんな研究シーズ 発表会

大学院生・企業などの研究トピックスをご紹介します！



# Session 2 16:55 - 17:55 (60分)



## 脳の免疫とアルツハイマー病

1999年京都薬科大学薬学部卒、Nathan S. Kline Institute リサーチアシスタント (1年間)、日本学術振興会特別研究員 (DC2)、2005年京都薬科大学大学院博士後期課程修了 (博士 (薬学))。京都薬科大学病態生理学分野の研究員、助手、助教、准教授を経て、2018年4月より現職。2014年～2016年シンガポール科学技術研究庁 (SiGN) 客員研究員。

京都薬科大学 統合薬科学系 教授 高田 和幸 氏

### 申し込み方法

下記いずれかの方法で **2.12[tue]** までにお申し込みください

#### [mail]

下記必要事項を記入して、seminar@keihanna-rc.jp へメール  
件名: 「平成30年度 cutting edge vol.4」申し込み

- 所属機関名 ■ご氏名 ■e-mail アドレス
- 「けいはんなリサーチコンプレックス News Letter」の要・不要

#### [Web]

[http://keihanna-rc.jp/events/event/cuttingedge2018\\_4/](http://keihanna-rc.jp/events/event/cuttingedge2018_4/)  
からお申込み

※ご記入いただいた個人情報は、本イベント参加者の把握と主催者が開催する今後のイベント案内に利用させていただきます。

### access

けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)  
京都府木津川市木津川台9丁目6番地  
京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番地1



#### <公共交通機関をご利用の場合>

##### ■京都から

●「京都駅」→近鉄京都線「新祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約50分)

##### ■大阪から

●「京橋駅」→JR学研都市線「祝園駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約70分)

●「本町駅」→中央線・近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約60分)

●「難波駅」→近鉄奈良線「生駒駅」→けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘駅」→奈良交通バス「公園東通り」下車 (所要約60分)

#### <車の場合>

■京奈和自動車道「精華学研I.C.」から約3分



# けいはんな研究シリーズ 発表会

大学院生を中心とした研究トピックスをご紹介します！

- |    |   |                                  |                        |
|----|---|----------------------------------|------------------------|
| 1  | ドパミン神経の再生と医療への応用を目指して～モデル動物から多能性幹細胞へ～   | 西村周泰、<br>高田和幸                    | 京都薬科大学<br>統合薬科学系       |
| 2  | 末梢血に含まれる造血幹細胞を利用した認知症治療法開発を目指した基礎研究   | 河西翔平、<br>黒田絵莉子、<br>戸田侑紀<br>他 2 名 | 京都薬科大学<br>病態生理学分野 他    |
| 3  | Wnt/ $\beta$ -catenin 経路阻害による新規がん分子標的治療薬シーズの創製  | 羽立祐貴、<br>服部恭尚、<br>戸田侑紀<br>他 3 名  | 京都薬科大学<br>病態生理学分野 他    |
| 4  | Tubulin degeneration induces tau abnormalities  | 藤原ひとみ                            | 同志社大学<br>生命医科学部        |
| 5  | 脳発生に伴うタウ関連タンパク質の発現変化  | 宮坂知宏                             | 同志社大学<br>生命医科学部        |
| 6  | 齧歯類の尾側線条体におけるドーパミン受容体 D1 及び D2 の特異的発現領域   | 緒方久実子、<br>苅部冬紀、<br>平井康治<br>他 1 名 | 同志社大学大学院<br>脳科学研究科     |
| 7  | 夏季において寒色系の壁面照明が人の感じる涼暖感に与える影響   | 川合由夏、<br>三木光範、<br>岡田祥<br>他 1 名   | 同志社大学<br>理工学部          |
| 8  | Specific localization of living cells in water/water microdroplets toward the spontaneous generation of 3D cell-assembly: Experiments with red blood cells and NAMRU mouse mammary gland epithelial cells | 保田祐輔                             | 同志社大学大学院<br>生命医科学研究科   |
| 9  | 静的および動的障害物環境下におけるコウモリの回避行動に関する検討  | 岸本啓太、<br>東亮浩、<br>小林耕太<br>他 1 名   | 同志社大学大学院<br>生命医科学研究科 他 |
| 10 | 野外におけるコウモリ集団のステレオカメラ計測  | 堀江哉宇、<br>浅野幸輝、<br>福代三華<br>他 2 名  | 同志社大学大学院<br>生命医科学研究科   |
| 11 | 運動・認知機能の発達の結びつき –空間認知能力と姿勢制御に着目して–  | 谷口康祐                             | 同志社大学<br>赤ちゃん学研究センター   |
| 12 | 看護・介護用スチーマー ラプレシャンプースチーマー   | 杉本崇志                             | 株式会社ティ・アイ・プロス<br>業務部   |
| 13 | 認知症予防のリハビリ  | 姫野宏                              | 株式会社 RKL               |
| 14 | 体調管理ソリューション hamon と今後の展望  | 和田美緒、<br>竹之内聖志                   | ミツフジ株式会社<br>東京本社営業部    |